

令和 元年 7月16日
国土交通省九州地方整備局
緑川ダム管理所

【速報】7月13日からの大雨における 緑川ダム防災操作の効果について

緑川ダムでは、7月13日に防災操作を行いました。

ダムへ流れてくる水量の一部をダムへ貯めることで、ダム下流へ流す水量を最大で約9割低減しました。

これにより、ダム下流の中甲橋水位観測地点において、河川の水位を約100センチメートル低下させる効果があったと推測されます。

・緑川ダムでは、13日19時30分に523m³/sの流入があり、そのうち470m³/sを貯留して53m³/sを流し、下流河川の増水を緩和しました。

いなおの
・稲生野雨量観測所の総雨量：164mm（13日6時～15日4時）

いなおの
・稲生野雨量観測所の最大1時間雨量：72mm（13日16時～17時）

※観測所所在地

いなおの
稲生野雨量観測所：熊本県上益城郡山都町御所字下稲生野

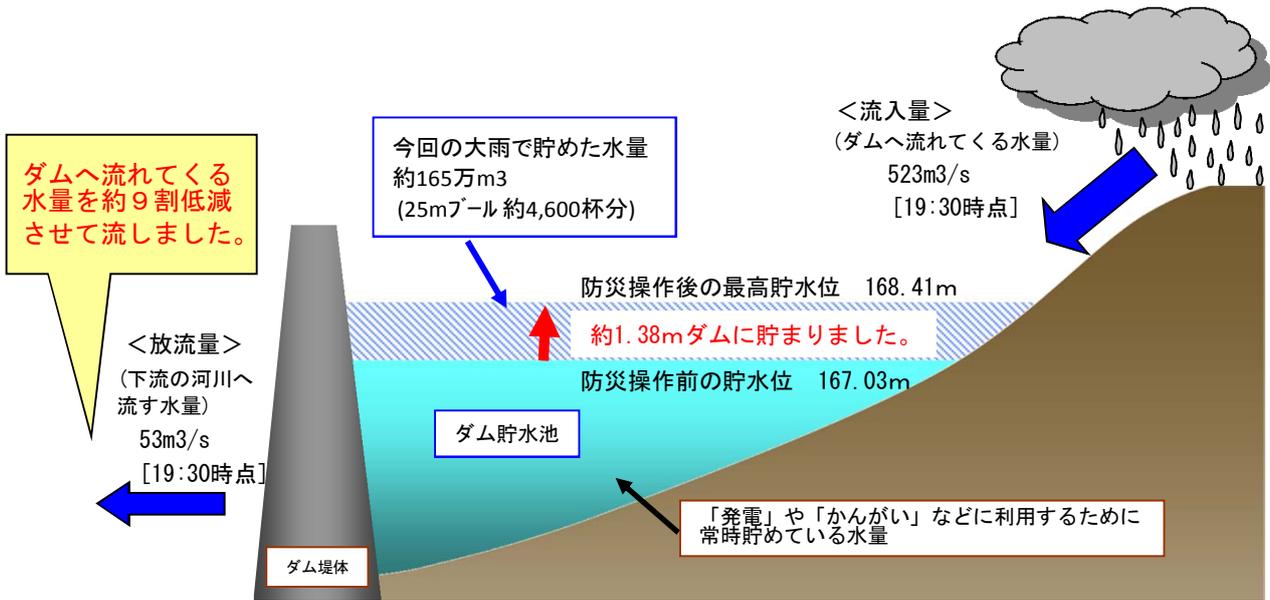
緑川ダム管理所HP <http://www.qsr.mlit.go.jp/midori/>

問い合わせ先：国土交通省 緑川ダム管理所

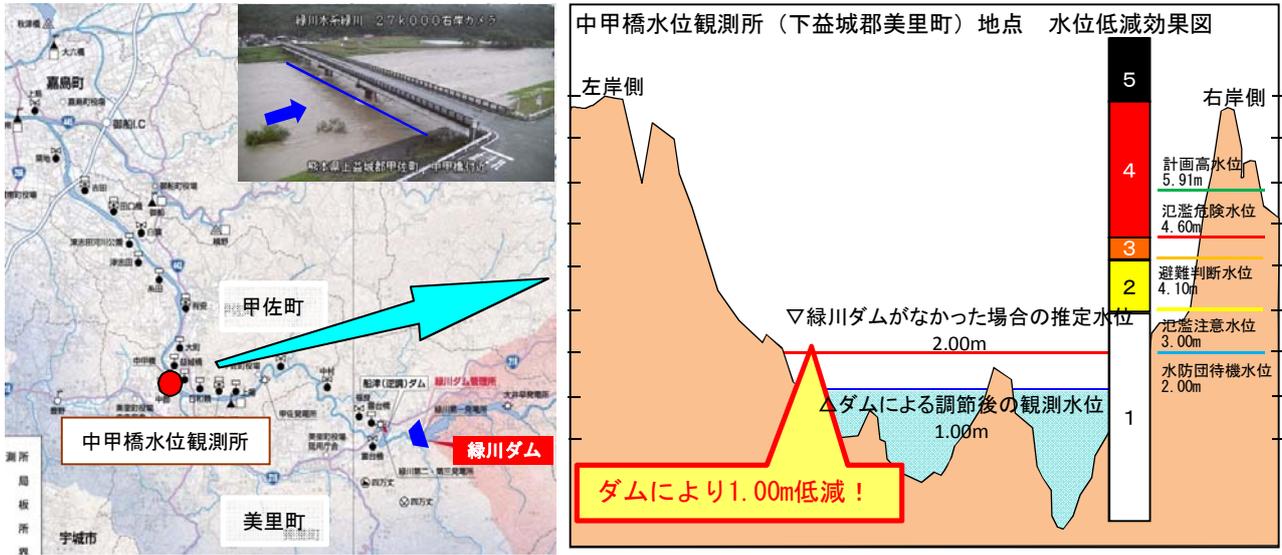
専門官 岩崎 靖生

電話：0964-48-0216（代） FAX：0964-48-0752

【緑川ダムの防災操作】



【緑川ダムにおける水位低減効果(最大)】



※ダムがなかった場合の河川推定水位やその低減量等、本発表における数値は速報値です。最終的に整理される数値とは異なる場合があります。